

## 教育研究業績概要

氏 名 近藤 俊哉 ( )				
研究分野		所属学会等の名称		
生薬学、植物化学		日本薬学会、日本生薬学会、日本植物バイオテクノロジー学会		
担当授業科目名				
薬用植物学、生薬学漢方薬学、薬品資源学、化学系薬学実習、医療薬学演習Ⅰ,Ⅱ、薬学総合演習、薬学特別演習Ⅰ,Ⅱ、卒業研究、薬品製造化学				
教育上の能力に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 補助教材（プリント）の作成、小テスト導入	2010-現在	担当講義にて評価アンケートに基づき適時実施		
2 作成した教科書、教材、指導書等 化学系薬学実習Ⅰ・Ⅱ	2009-現在	共著 岩島誠、中村賢一、近藤俊哉ほか2名		
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・ 講師等				
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等 薬剤師免許	1996	厚生省		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務 経験等				
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共 著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) ・新訂生薬学改訂第8版	共著	2017	南江堂	近藤俊哉 ほか17名 p. 202-212
(報告書等) ・三重県で栽培した薬用作物シャクヤク品種の分析結果	単著	2017 2018 2019 2020	三重県農業研究所	近藤俊哉
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) ・ Pokeweed antiviral protein region Gly209-Lys225 is critical for RNA N-glycosidase activity of the prokaryotic ribosome.  ・ Purification and characterization of UDP-glucose : curcumin glucoside 1,6-glucosyltransferase from Catharanthus roseus cell suspension cultures.  ・ Purification and characterization of abelesculin, a novel ribosome-inactivating protein from the mature seeds of <i>Abelmoschus esculentus</i> . ほか12編		Nagasawa Y, Kobayashi Y, <u>Kondo T</u> ほか2名  Sahin F, <u>Kondo T</u> , Mizukami H ほか10名  <u>Kondo T</u> , Yoshikawa T		Phytochemistry, <b>69</b> , 1653-1660, 2008  Biol Pharm Bull, <b>30</b> , 1265-1270, 2007  J Nat Med, <b>61</b> , 170-174, 2007

<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴鹿産シャクヤクの生薬原料化の可能性</li> <li>・ 1 アミノ酸変異導入によるリボソーム不活性化タンパク質 karasurin の活性増強</li> <li>・ リボソーム不活性化タンパク質 karasurin の基質選択性の改変及び活性の増強</li> </ul> <p>ほか 26 件</p>	<p><u>近藤俊哉</u>、亀谷春香、水野佑美、ほか 4 名</p> <p><u>近藤俊哉</u>、角田咲子、長澤由実 ほか 1 名</p> <p>長澤由実、<u>近藤俊哉</u>、小林義典</p>	<p>第 138 回、日本薬学会、2018、金沢</p> <p>第 129 回、日本薬学会、2009、京都</p> <p>第 128 回、日本薬学会、2008、横浜</p>
<p>(その他)</p>		